

ユース・イノベーターを育成中！ RAISING YOUTH INNOVATORS

熊本市防災ICT人材育成協議会

くまもと防災ICTクラブ メンター

熊本市少年少女発明クラブ 専任指導員

ロボファーム 代表 森川 治雄

登壇者・自己紹介(PR)

■ロボファーム・森川治雄

<https://robofarm.jp>

■くまもと防災ICTクラブ メンター

■熊本市少年少女発明クラブ 専任指導員

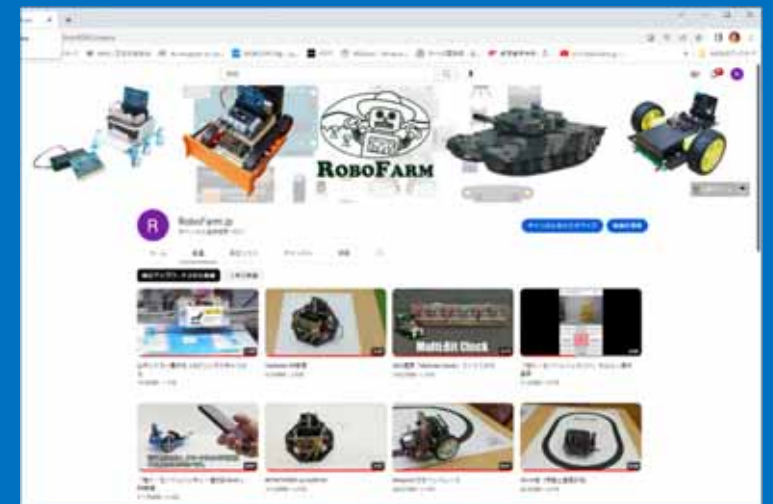
■元中学校教諭 第二種情報処理技術者 ICT支援員資格認定

■職業訓練施設・企業・専修学校でのIoTプログラミング講座講師

■公立小学校での「プログラミング教育」支援事業

■FBグループ「micro:bitプログラミング教育研究室」管理人

■こっそりYoutubeチャンネル公開してます(笑)



背景

- 人口減少や経済停滞による地方の疲弊が深刻化
- 地域創生・地域活性化のためには、地域で新たな価値観（イノベーション）の創発が不可欠
- イノベーション人材育成が急務

目的

■「ユース・イノベーター」育成



取り組みの内容

- 独自プログラム・教材の開発
- 産官学連携
- 拠点の整備
- 最先端ICTの学びの場の提供

取り組みの内容

- **独自プログラム・教材の開発**
- 産官学連携
- 拠点の整備
- 最先端ICTの学びの場の提供

独自プログラムの開発

- イノベーション創発プログラム
- 星合隆成工学博士が開発
(SCBイノベーションアカデミー校長)



星合隆成 (工学博士・P2P提唱者)

崇城大学IoT・AIセンター長
崇城大学情報学部教授
早稲田大学招聘研究員

コンセプトラボ株式会社取締役会長
SCBイノベーションアカデミー校長 (SCB提唱者)
(一社)SCBラボ所長・理事
元群馬大学客員教授/元日本大学非常勤講師
元ベルコミュニケーション研究所招聘研究員(米国留学)
元電子情報通信学会通信ソサイアティ幹事
総務省ICタグと自律分散協調ネットワーク調査検討会委員
経済産業省次世代型新IT環境研究会委員



教材の開発(1)

■パパッとPython (森北出版2021)



教材の開発(2)

■ 発明クラブや職業訓練施設向けのフィジカルコンピューティング教材



Micro:bitロボットカー



IoTマイコンM5StickC

教材の開発(3)

■避難経路誘導システム



教材の開発(4)

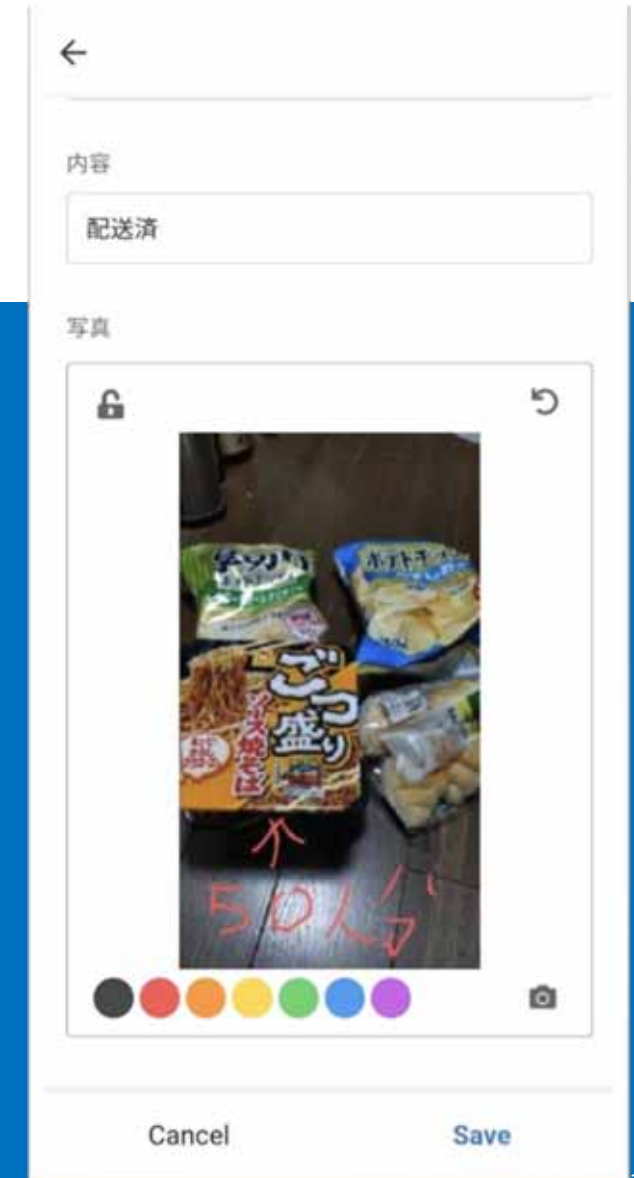
■ノーコード災害物資管理システム

作成するノーコードアプリ

災害時の物資配送管理アプリ

特徴 災害時に地域住民の力を結集させるアプリ

概要 物資が必要な人と場所を把握
誰でもスマホで入力・閲覧可能
QRコードでアクセス可能



教材の開発(5)

■フェイクニュースを見破れ！

enjoy勢ななほし
@Nanahosi1222

おいふざけんな、地震のせいで
うちの近くの動物園からライオン放たれたんだ
が
熊本



熊本地震のツイッター



まことん @takohamataka

【拡散希望】
熊本市内の市街地に地震で動物園から逃げ出したライオンが徘徊してる模様です！外出の際はお気をつけ
ください！！ twitter.com/Nanahosi1222/s...

2016-04-14 22:18:53



大変だ。みんなに
知らせなきゃ！
【拡散希望】

善意・悪意

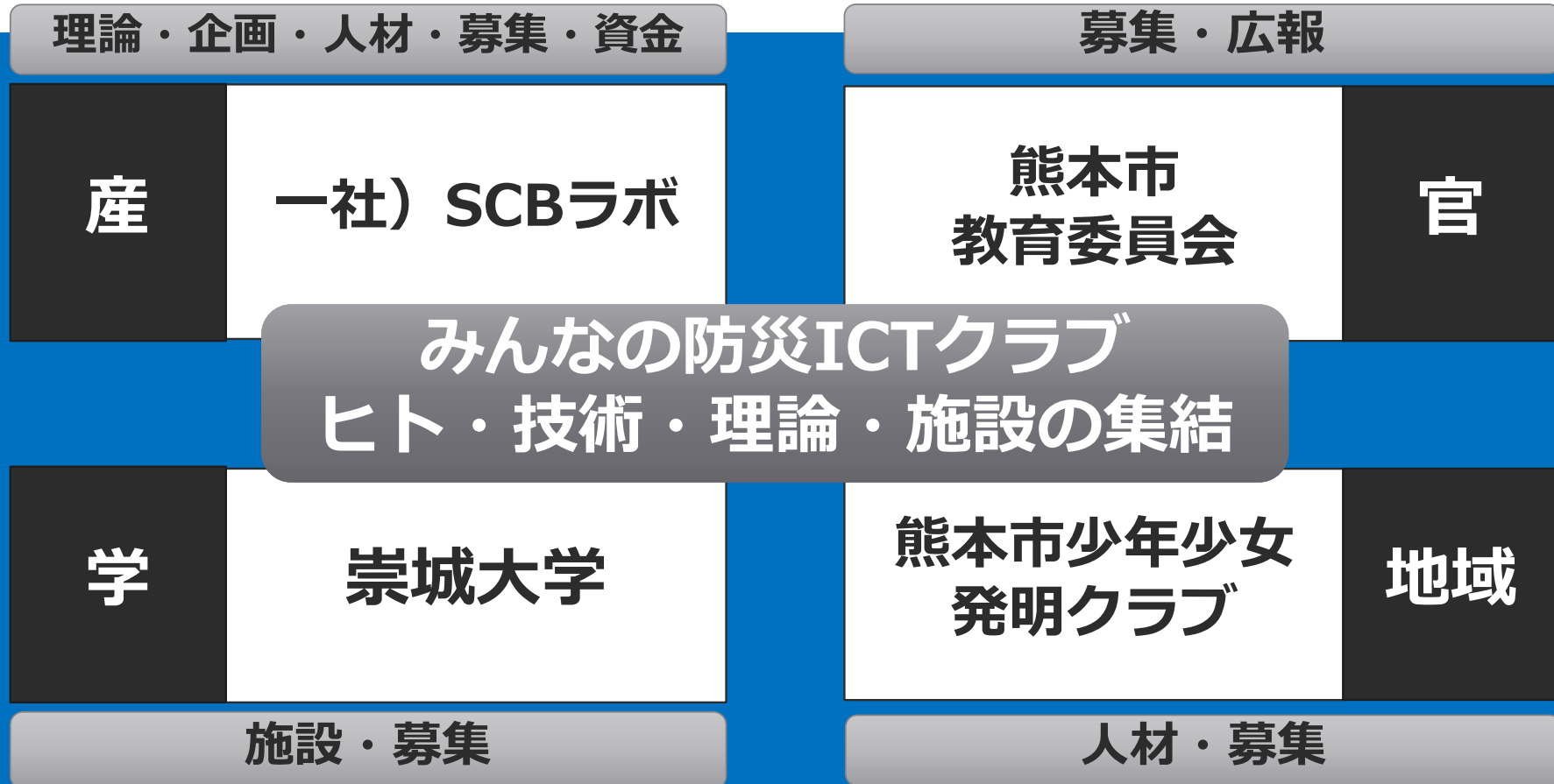
熊本地震のツイッター



取り組みの内容

- 独自プログラム・教材の開発
- **産官学連携**
- 拠点の整備
- 最先端ICTの学びの場の提供

熊本市防災ICT人材育成協議会



連携の拡大・・・体制の強化

- 熊本市北区役所(2020)
- 蔦屋書店(2020)
- DXfromKUMAMOTO (2022)
 - 崇城大学IoT・AIセンター・SCBラボ
 - 総務省九州総合通信局
 - ソフトバンク・NTT西日本・NEC
 - 地方銀行・メディア企業



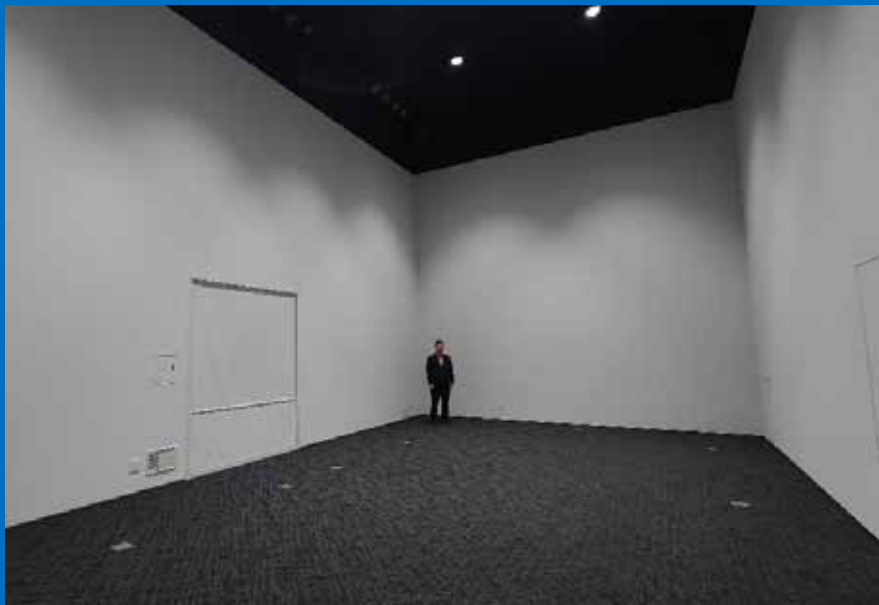
取り組みの内容

- 独自プログラム・教材の開発
- 産官学連携
- **拠点の整備**
- 最先端ICTの学びの場の提供

崇城大学IoT・AIセンター



メタ空間スタジオ(1)



メタ空間スタジオ(2)



蔦屋書店熊本三年坂



取り組みの内容

- 独自プログラム・教材の開発
- 産官学連携
- 拠点の整備
- **最先端ICTの学びの場の提供**

熊本市北区小中学生向け PYTHONプログラミング講座

■パパッとPythonを用いた小中学生向け講座

The screenshot shows a web-based Python programming course interface. At the top, there is a navigation bar with 'Chapter 1 復習' (Chapter 1 Review). Below this, there is a list of exercises under the heading '練習3 (★☆☆☆☆) (5/12)'. The exercises are numbered 1 through 12, each with a Python code snippet. For example, exercise (1) is 'print("2019")'. To the right of the list, there is a video player showing a live session with a presenter and several participants. The presenter's name is 'hoshiai takemige'. The video player also shows the 'SFB' logo and 'Media Space' logo.

The screenshot shows the website for the 'Python Programming for Children' course. The website is in Japanese and features a green header with the logo of the City of Kumamoto, North District. The main content area includes a search bar, a navigation menu, and a section titled '【先着40名！】プログラミングをオンラインで学びませんか?' (Don't you want to learn programming online with the first 40 people?). Below this, there is a section for the course titled '【受講無料】オンラインプログラミング教室 (5/12~)' (Free Course: Online Programming Class (5/12~)). The course details include the number of participants (40), the course fee (free), and the course content. There is also a photo of the instructor and a list of course features.

高校生向けDX・イノベーション講座

■熊本西高校・熊本工業高校・ルーテル学院高校・
阿蘇中央高校・大津高校・必由館高校・都城西高校



姉妹都市・国際交流イノベーション講座

■ハイデルベルク市との青少年イノベーター育成事業



少年少女発明クラブとのコラボ講座

■発明キッズイノベーターを育成



うれしいニュースも

■受講生が頑張ってます



The screenshot shows a news article from the Kumamoto Daily News. The article is titled "情報処理検定、全8種目で1級取得 熊本農高3年の城戸さん" (Information Processing Exam, 1st Grade Achievement in All 8 Subjects by Kumamoto Agricultural High School 3rd Year Student, Mr. Jōdo). The article reports that Mr. Jōdo, a 3rd-year student at Kumamoto Agricultural High School, has achieved 1st grade in all 8 subjects of the Information Processing Exam. The article also mentions that Mr. Jōdo is a member of the school's Information Processing Club and has been practicing at home. The article includes a photo of Mr. Jōdo holding his certificate and a quote from him.

熊本農高（熊本市南区）の農業経済科3年城戸一蓮（しんご）さんが、日本情報処理検定協会が主催するパソコン関連の検定全8種目で1級を取得し、特別会賞を受賞した。同校での受賞は初めて。

検定の種目は表計算やホームページ作成、文書デザインなど。パソコンの技術を就職活動や進学に役立てようと、同校では8年前から農業経済科1～3年の全生徒が検定を受験している。

城戸さんはパソコン部での活動や自宅でも練習し、10分間のタイピング速度は当初の1000字ほどから2000字まで向上した。情報処理の授業を担当する熊本一教諭（33）は「健闘のスピード認定英文でも1級を取得できたのはすごい」と話す。

「全種目での1級取得は高校卒業までの目標だった。タイピング速度は練習した分だけ結果につながり、楽しかった」と城戸さん。今後は大学でプログラミングを学び、農業機械関連のプログラマーを目指するという。（川野千穂）

今後の取り組み

熊本市少年少女発明クラブとともに、さらなるICTに触れる機会を子供たちに提供

- 崇城大学IoT・AIセンター内に、地域ICTクラブルームを常設し、大学生や企業人材、発明クラブ指導員などとの活動をスタート

THE END



■ご清聴ありがとうございました